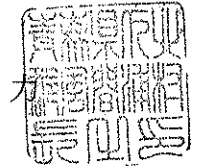


風建発第 14 号
平成19年 5月 8日

国土交通省道路局長 殿

風間浦村長 横 浜



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

標記の件について、別紙意見書を提出しますのでよろしく申し上げます。

今後の道路政策や整備・管理について

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

・社会資本整備の中で特に地方では道路整備が根幹をなすものであり、自動車に依存せざるを得ない交通体系、或いは一世帯あたりの自動車保有台数は、青森県が東京都の約2倍また、通学・通勤の利用状況をみると約5倍となっており「真に必要な道路は計画的に整備を進める」という基本方針のなか、必要性を具体的に見極めるなら整備の遅れている「地方道」こそ重点的に整備すべきである。

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・今後の道路政策に対しては、コストを減らし「選択と集中」を徹底する必要がある。
- ・事業の実施にあたって、早い段階からの住民の考え方や意見が十分反映されるような取組が必要。
- ・個別の事業のスピードアップを図るなどスケジュールの管理等の徹底。
- ・国民の要望の強い高速道路料金の引き下げ等現在の道路の有効活用。

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般の意見

・下北半島を南北に縦断する国道279号では、地域の経済、観光、文化、教育及び医療体制の充実を図る幹線生活道路として極めて重要な路線であるにもかかわらず、我が風間浦村において、急崖斜面からの巨石落下による全面通行止めが過去数回発生するとともに、岩塊不安定化に伴い通行止めや交通規制が行なわれるなど、地域の社会生活活動は多大な影響を受けている。このような状況に鑑み、恒久的な道路防災対策の整備促進が図られ、速やかに安全で安心な通行が確保されることが、地域の悲願である。